

日米投信週次概況(2023年11月8日週)

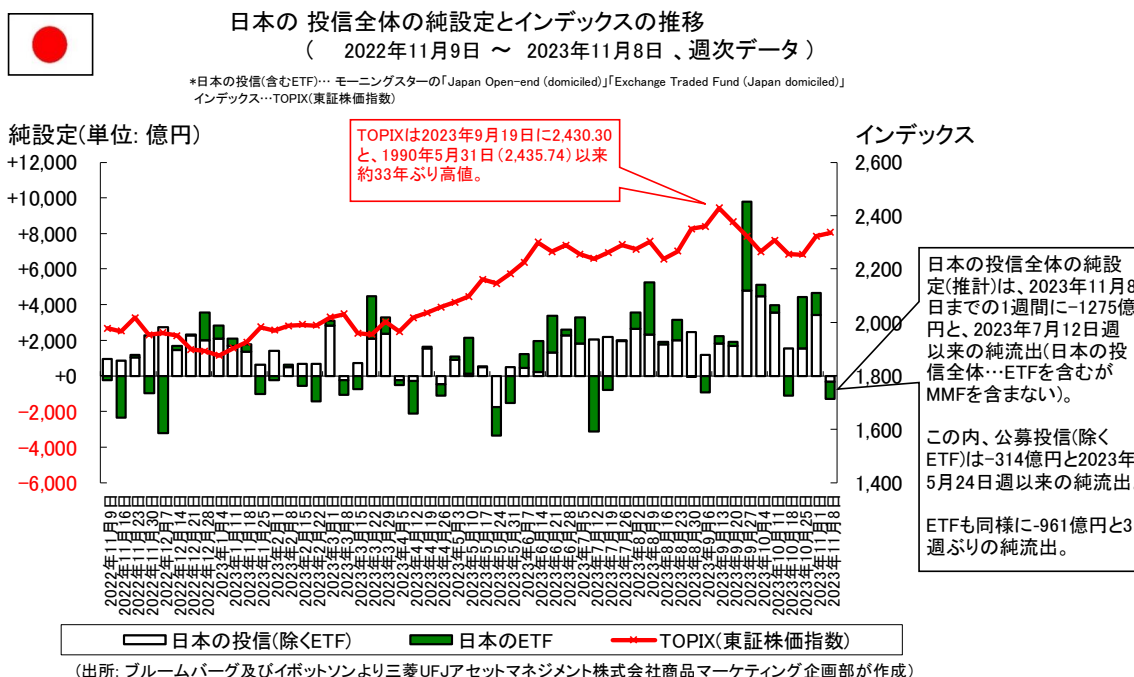
# 米国でハイイールド債(ジャンク債)ETFが過去最大の純流入！ ～現物交換ETFは米国投信改革「流動性リスク管理およびスウィング・プライシング」の対象外～

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp) 窪田真美 (mami-kubota@am.mufg.jp)

- 日本の公募投信は5か月半ぶり純流出!日経225連動インデックスに利益確定売り。.....p.1
- 米国でハイイールド債(ジャンク債)ETFが過去最大の純流入！  
～現物交換ETFは米国投信改革「流動性リスク管理およびスウィング・プライシング」の対象外～.....p.3

## ●日本の公募投信は5か月半ぶり純流出!日経225連動インデックスに利益確定売り。

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2023年11月8日までの1週間に-1275億円と、2023年7月12日週以来の純流出(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～イボットソン調べ)。この内、**公募投信(除くETF)は-314億円と2023年5月24日週以来の純流出**。ETFも同様に-961億円と3週ぶりの純流出となった。



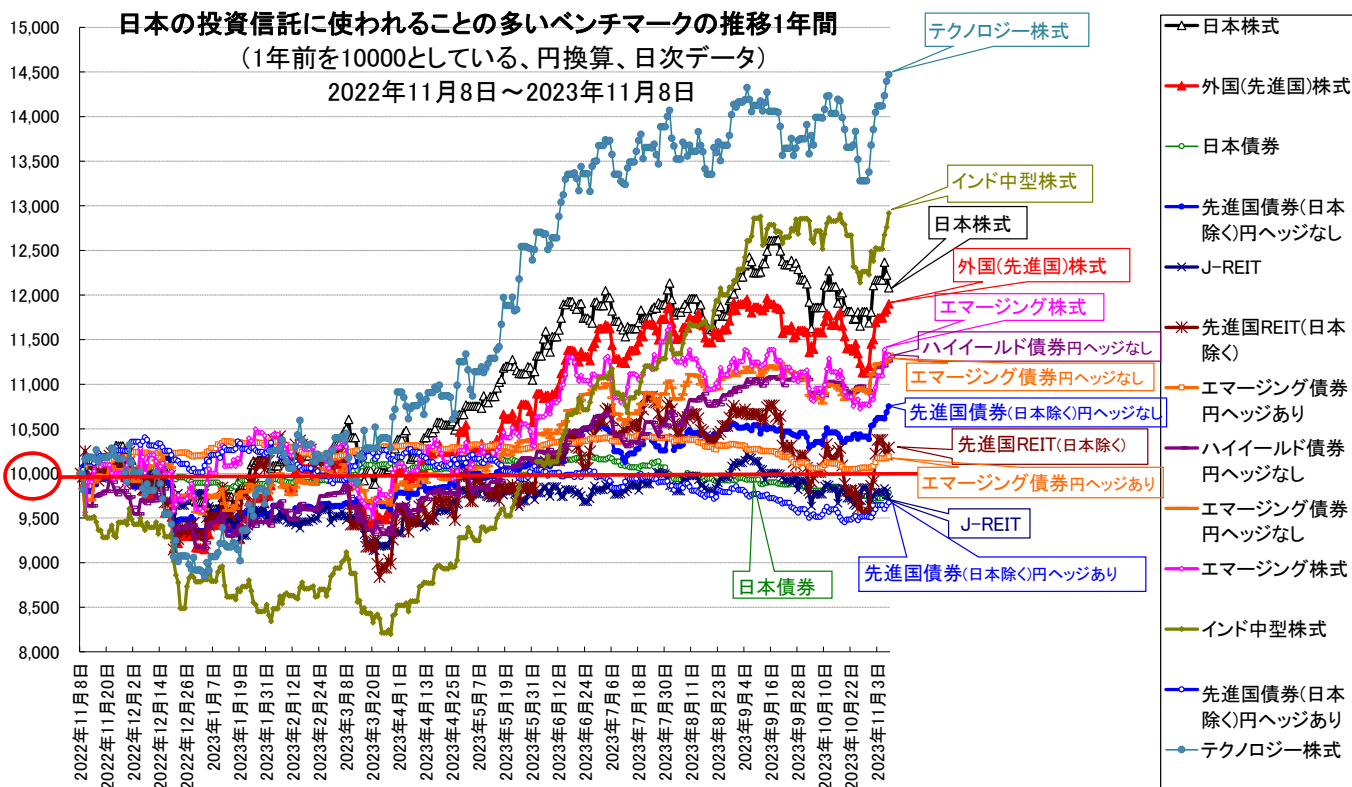
2023年5月24日週以来5か月半ぶりに純流出となった公募投信(除くETF)純設定額を分類別に見る。最新11月8日週の純流入1～3位は北米株、グローバル株、インド株。純流出1～3位は日本株大型ブレンド、グローバル債-日本を除く-円ヘッジ、トレーディングレバレッジ/インバース株。純流出1位の日本株大型ブレンドは11月8日週に-830億円という3月8日週以来8か月ぶりの大きな純流出(2014年11月5日週に-2430億円が過去最大の純流出)。日経225連動型インデックスファンドの解約が大きい。

日本の投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2023-11-08現在  
 \*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJ国際投信商品マーケティング企画部)
1	North America Equity	+77,878	+52,482	+262,876	13,266,497	北米株
2	World Equity	+44,135	+58,890	+162,402	18,919,816	グローバル株
3	India Equity	+11,963	+20,520	+71,806	1,865,481	インド株
4	World ex-Japan Equity	+11,130	+34,912	+92,583	8,138,375	グローバル株-日本を除く
5	World Convertible Bond	+9,117	-336	+8,840	107,646	グローバルCB
6	Japan Money Market	+7,484	-1,883	+4,458	40,866	日本マネー
7	Moderately Aggressive Allocation	+5,278	+11,433	+28,811	3,121,338	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
8	World Convertible Bond - JPY Hedged	+3,868	-695	+3,967	180,914	グローバルCB-円ヘッジ
9	US Bond	+2,355	+2,597	+8,372	370,332	米国債
10	World High Yield Bond US	+2,170	+4,502	+14,238	1,245,361	米国ハイイールド債
84	Japan Bond Long/Intermediate	-2,891	+4,483	+8,890	3,797,905	日本中長期債
85	North America Equity - JPY Hedged	-3,039	-3,578	-16,417	887,927	北米株-円ヘッジ
86	World Equity - JPY Hedged	-4,076	-6,361	-29,949	1,358,829	グローバル株-円ヘッジ
87	Risk Control Allocation	-6,306	-5,167	-21,060	1,342,781	リスク・コントロール・アセットアロケーション
88	World ex-Japan Bond	-9,715	+8,185	+753	2,665,351	グローバル債-日本を除く
89	Japan REIT	-11,597	-1,297	-15,953	2,535,816	日本REIT
90	World Bond - JPY Hedged	-15,169	-1,815	-24,931	1,694,488	グローバル債-円ヘッジ
91	Trading - Leveraged/Inverse Equity	-26,273	+11,443	-11,364	547,610	トレーディング-レバレッジド/インバース株
92	World ex-Japan Bond - JPY Hedged	-28,284	-1,383	-29,988	1,423,820	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
93	Japan Large-Cap Blend Equity	-82,865	+72,591	+44,905	7,906,699	日本株大型ブレンド
全93分類の合計		-31,360	+341,090	+617,616	102,322,078	
指数名	リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)			
TOPIX (東証株価指数)	-0.21	+2.50	-0.07			
S&P500	+3.44	+1.24	+0.20			
MSCI ワールド	+3.27	+0.94	-0.31			

(出所: ブルームバーグ、イボットソンより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。



(出所: ブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成) \*ベンチマークとはブルームバーグで代表的と思われるものを使用している。

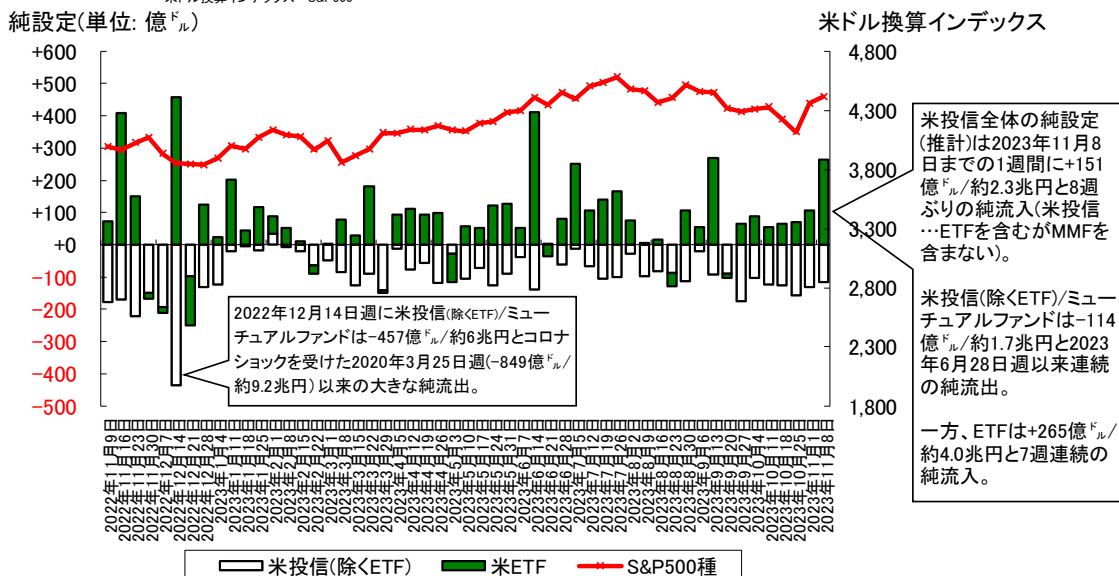
## ●米国はハイイールド債(ジャンク債)ETFが過去最大の純流入！～現物交換ETFは米国投信改革「流動性リスク管理およびスウィング・プライシング」の対象外～

米投信全体の純設定(推計)は2023年11月8日までの1週間に+151億<sup>ドル</sup>/約2.3兆円と8週ぶりの純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～イボットソン調べ)。この内、**米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-114億<sup>ドル</sup>/約1.7兆円と2023年6月28日週以来連続の純流出**。一方、**ETFは+265億<sup>ドル</sup>/約4.0兆円と7週連続の純流入**となった。



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移  
(2022年11月9日～2023年11月8日、週次データ)

\*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)…モニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。  
米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: ブルームバーグ及びイボットソンより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成)

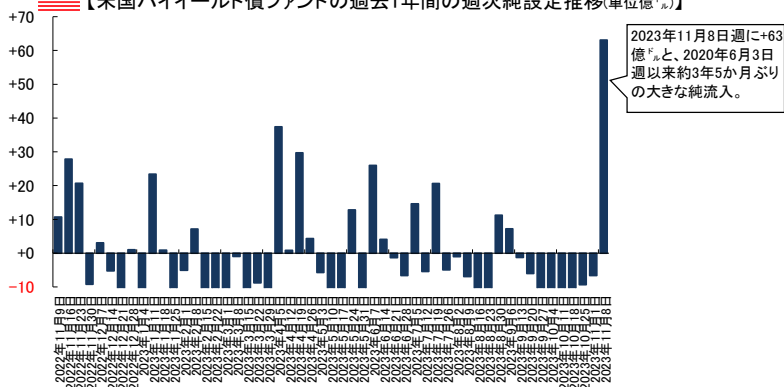
\*米モニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2023年11月8日週の投信全体純設定額を分類別に見る。**米国株は+68億<sup>ドル</sup>と、2週連続純流入**。**債券は+92億<sup>ドル</sup>と2週連続の純流入**で7月5日週以来4か月ぶりの大きな純流入。**セクター株が+9億<sup>ドル</sup>と2週ぶり、コモディティは+4億<sup>ドル</sup>と3週連続純流入**。一方、**外国株は-11億<sup>ドル</sup>と9週連続の純流出**。

より投資対象を細かく見る。米投信(含むETF、除くMMF)の分類別純設定額は次頁の通り。**純流入1～3位は米国ハイイールド債、米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、社債**。

**1位米国ハイイールド債は、2023年11月8日週に+63億<sup>ドル</sup>と、2020年6月3日週以来約3年半ぶりの大きな純流入**(過去最大は2020年4月1日週への+79億6307万<sup>ドル</sup>/約8644億円～2009年6月からの週次ベース。2023年11月8日週への+63億<sup>ドル</sup>は過去4番目の大きさ)。**米国ハイイールド債の内、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは+14億<sup>ドル</sup>(占率22%)と、2023年3月29日週以来約7か月ぶりの大きな純流入**、**ETFは+49億<sup>ドル</sup>(占率78%)と、過去最大の(2009年6月3日週のデータ開始以来の大きな)純流入**。

【米国ハイイールド債ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億<sup>ドル</sup>)】



(出所: イボットソンより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成)

ハイイールド債(ジャンク債)について、2023年11月11日付Bloombergは「リフィニティブ・リッパーによると、投資家は11月8日までの週に米国の高利回りジャンク債ファンドに殺到した。高利回り債券ファンドは前期に約9億5430万ドルの損失を出した後、62億6000万ドルの資金を調達した。投資適格債券ファンドは先週26億8000万ドルを減らした後、14億8000万ドルの流出を記録した。米国のレバレッジド・ローン・ファンドは、前週の1億2600万ドルに続き、6億8700万ドルの流入を記録した。」(2023年11月11日付Bloomberg「CORRECT: Investors Plow \$6.26b Into Junk-Bond Funds During Week」~<https://www.bloomberg.co.jp/>)、「2023年の大量の資金流出や、多額の負債を抱える企業の健全性に警告が相次ぐ状況にもかかわらず、24年に最高のパフォーマンスが期待できる『逆張り』クレジットレードとして、506の回答者の52%が高利回りのジャンク(投機的格付け)債に好機があると考えている。その一方で、地方銀行債や商業用不動産ローンなどには引き続きより慎重だ。」(2023年11月13日付Bloomberg「ジャンク債が24年のトップ、有望な逆張りレード-MLIV調査」~<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2023-11-13/S41LOBT0AFB401?srnd=cojp-v2-markets>)と報じる。

**ハイイールド債ファンドと言うと(バンクローン・ファンドはもっと)、どうしても、2022年11月2日のSEC/証券取引委員会の投信改革案「オープンエンド・ファンドの流動性リスク管理およびスウィング・プライシング; フォームN-PX報告」案が懸念される**(2023年3月24日付投信調査レポートNo.393「日米投信週次概況(2023年3月22日週)米国ではSVB破綻の中、パッシブ運用投資家が地銀株ファンド買い継続!? バンクローン・ファンド流出はSVBショックと言うよりSEC流動性分類変更か」~ [https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_230324.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_230324.pdf)、2023年2月27日付日本版ISAの道 その375「世界のファンド(含むMMF)流動性管理 米国の投信改革案も英国の資産運用制度改革案も スウィング・プライシング! 非上場株/VC・PE投資は流動性管理と共に」~ [https://www.am.mufg.jp/text/oshirase\\_230227\\_2.pdf](https://www.am.mufg.jp/text/oshirase_230227_2.pdf))。 **ただ、SECの流動性規制案は飽くまでもオープンエンド・ファンド、つまり、米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドの流動性リスク管理であり、「現物交換出来るETF/"in kind" exchange-traded fund(多くのETFが該当)」は除かれる。その意味で、ハイイールド債ミューチュアルファンド(除くETF)というよりハイイールド債ETFへの純流入という事は安心である。**

🇺🇸 米投信の分類別週間純流出入(純流入の大きい順) 2023-11-08現在  
 \*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJ国際投信商品マーケティング企画部)
1	High Yield Bond	+6,305	-659	+2,748	233,376	米国ハイイールド債
2	Large Blend	+3,831	+11,040	+19,774	3,278,466	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
3	Corporate Bond	+2,712	+595	+872	135,132	社債
4	Small Blend	+1,587	+988	+2,674	346,152	米国小型ブレンド株
5	Intermediate Core Bond	+1,407	-420	+5,011	581,834	米国中長期コア債
6	Large Growth	+1,382	-2,478	-1,703	1,645,668	米国大型グロース株
7	Technology	+1,334	-811	+518	248,686	米国テクノロジー株
8	Muni National Interm	+719	+506	+1,244	169,091	米国全米地方債
9	Trading--Inverse Equity	+664	-569	-853	14,846	トレーディングインバース株式(ベア型)
10	Financial	+547	-1,824	-2,229	57,823	金融株
112	Real Estate	-284	-474	-290	77,164	米国REIT
113	Inflation-Protected Bond	-448	-358	-2,208	115,251	米国インフレ連動債
114	Global Allocation	-453	-523	-1,612	242,230	グローバル・アセットアロケーション
115	Foreign Large Growth	-458	-225	-2,874	335,086	外国株大型グロース株
116	Diversified Emerging Mkts	-512	-714	-1,726	488,512	グローバル・エマージング株
117	Consumer Defensive	-545	-319	-1,089	27,038	ディフェンシブ消費財株
118	Trading--Leveraged Equity	-713	+193	-1,110	59,963	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
119	Intermediate Core-Plus Bond	-742	+342	-4,579	531,088	米国中長期コアプラス債
120	Short-Term Bond	-947	-953	-6,168	327,374	米国短期債
121	Ultrashort Bond	-2,067	+4,032	+5,573	303,100	米国超短期債
	全121分類の合計	+15,065	-2,476	-2,066	16,299,522	
	指数名	リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	-0.21	+2.50	-0.07		
	S&P500	+3.44	+1.24	+0.20		
	MSCI ワールド	+3.27	+0.94	-0.31		

(出所: ブルームバーグ、イボットソンより三菱UFJアセットマネジメント株式会社商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

以上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治( [kenji-matsuo@am.mufg.jp](mailto:kenji-matsuo@am.mufg.jp) )、

窪田 真美( [mami1-kubota@am.mufg.jp](mailto:mami1-kubota@am.mufg.jp) )。

### **本資料に関してご留意頂きたい事項**

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

### **本資料中で使用している指数について**

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



## 三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会